

オリンピックについて考える ボランティアの視点から

実践女子大学 アート・コミュニケーション研究所
公開レクチャー・シリーズ①

2018年1月10日 (水) 18:30~20:30

実践女子大学渋谷キャンパス120周年記念館 602教室



基調講演

「オリンピックボランティア：大会の顔」
西川 千春 (にしかわ ちはる) 氏

1960年 東京都生まれ。慶應義塾大学法学部法律学科卒業。
米アリゾナ州立大で国際経営学修士(MBA)。
1990年 日本精工の駐在員としてロンドンへ。その後英国に留
まり、2005年に経営コンサルタントとして独立。
日本スポーツボランティアネットワークのプロジェクトに特別
講師としてかかわるほか、目白大学外国語学部英米語学科講師。

2012年のロンドン大会以降、ソチ、リオ大会でのボランティア体験を通して、ボランティアの定義から、ボランティアプログラムの概要、そしてボランティアを通して、何が得られるのかについて語っていただきます。そして、過去の大会を比較した上で2020年東京大会、さらには日本社会への提言をお願いします。

【スケジュール】

18:30~19:35 基調講演「オリンピックボランティア：大会の顔」

10分休憩

19:45~20:30 パネルディスカッション

「2020東京大会に向けて、オリパラで何が変わるのか？」

【パネラー】

深澤 晶久 実践女子大学 大学教育研究センター 特任教授 (キャリア教育)

杉浦 幹男 実践女子大学 文学部 非常勤講師 (アートマネジメント論)

アーツカウンシル新潟 プログラムディレクター

【司会】

椎原 伸博 実践女子大学 文学部美学美術史学科 教授 (美学芸術学・アートマネジメント)

お問い合わせ 実践女子大学アート・コミュニケーション研究所
jissenaci@gmail.com